

令和 8 年度赤磐市国民健康保険第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び 第 4 期特定健康診査等実施計画中間評価策定業務に係る仕様書

1. 業務名

令和 8 年度赤磐市国民健康保険第 3 期保健事業実施計画（データヘルス計画）及び
第 4 期特定健康診査等実施計画中間評価策定業務

2. 目的

赤磐市（以下、「市」という。）の国民健康保険における保健事業の効果的かつ効率的な推進を図るため、第 3 期データヘルス計画及び第 4 期特定健康診査等実施計画（以下、「現行計画」という。）について、国保データベース（以下、「KDB」という。）帳票等を活用し、PDCA サイクルに基づく、現行計画の実施状況に係る評価を行い、被保険者の健康の保持増進及び医療費の適正化を目指すことを目的とする。また、策定に際しては、KDB 帳票やオープンデータを活用し、使用帳票や集計・分析手法を明記することにより、本業務完了後も市において同様の集計・分析・評価が可能な状態をつくることとする。

3. 履行場所

市及び受託者が指定する場所（ただし、当該業務に係る個人情報の安全管理が適切に確保される場所に限る）

4. 委託期間

契約締結日から令和 9 年 3 月 31 日まで

5. 業務体制

受託者は本業務の遂行にあたっては、責任者及び担当者を置き、市の指示に迅速に対応できる業務体制を組むものとする。また、責任者或いは担当者は、地方公共団体における保健事業実施計画（データヘルス計画）の策定もしくは評価（中間又は最終）と同様の業務に従事した経験を有する者とする。

6. 業務内容

（1）現行計画の中間評価の策定

受託者は、医療費等の現状分析業務等を行う。集計・分析項目については、現行計画（https://www.city.akaiwa.lg.jp/material/files/group/12/datahealth3_3.pdf）に掲載されている、集計項目・区分、集計データの出典を変えずに、最新の KDB データを用いて実施すること。

なお、集計・分析は赤磐市において再現可能なものとするために、使用するデータは、別紙「発注者が受託者に提供するデータ等」に定める KDB 帳票やオープンデータ等の使用に限り、かつ報告書には使用帳票名、集計・分析手法や定義を明示すること。

- （ア） 中間評価の基礎となる医療費等の現状分析
- （イ） データヘルス計画全体の評価
- （ウ） 個別保健事業の評価

(エ) 今後の個別保健事業の見直し案の策定

(オ) 第3期データヘルス計画中間評価書及び参考資料集の作成

(2) 成果物の納品

納品物：データヘルス中間評価書、資料集（※）

（※）中間評価書に記載される集計だけでなく性別・年代別・経年など網羅的な集計結果及びその集計方法を記載した参考資料

納品形式：PDFデータ、グラフ・データの編集が可能なWordデータ（※）

（※）グラフについては、現行計画に掲載されているグラフと同一の内容とすること

7. 成果物の帰属

本業務における成果品及び業務上の作成資料等については、全て本市に帰属するものとし、本市の指定する時期に速やかに引き渡すものとする。

また、受託者は、本市の許可なく複製、公表又は第三者に提供してはならない。

8. 契約締結後のスケジュール案

令和8年 6月～ 7月 データ授受、雛形共有

令和8年 7月～ 8月 現状分析ための集計（業務項目ア）

令和8年 8月～10月 データヘルス計画全体の評価に対する助言、
個別保健事業の評価及び見直し案に対する助言
（業務項目イ・ウ・エ）

令和8年10月～ データヘルス計画中間評価書の作成（業務項目オ）

令和9年 3月 データヘルス計画中間評価書・資料集最終版の納品

9. 事前の打ち合わせ

(1) 委託業務の開始に当たり、市・受託者は委託業務の詳細を決定する打合せを実施する。

(2) 打合せ場所や日時、方法については、市及び受託者が協議の上で決定する。

10. 作業の進捗状況報告

受託者は、業務計画を市と協議して定めるとともに進捗管理を行い、進捗報告を行うものとし、委託期間において、適宜中間成果物の提供を求められた場合は、市の指示に従うものとする。

11. 再委託の禁止

受託者は、業務の全部又は一部を第三者に委託し、又は請け負わせることはできない。ただし、一部でかつ、主要な部分を除き、あらかじめ市の書面による承諾を得た場合は、この限りではない。

12. 情報の保護

(1) 受託者は、本業務（再委託した場合を含む。）を通じて知り得た情報を機密情報として扱い、契約の目的以外に利用し、又は第三者に漏らしてはならない（資料の転写・複写・転載・閲覧及び貸出を含む。）。

- (2) 受託者は、本業務に関するデータの管理において、漏洩、滅失、棄損及び改ざんを未然に防止するために必要な措置を講じること。その他適正な管理のために必要な措置を講じなければならない。契約終了後もまた同様とする。
- (3) 受託者は、この契約による業務を処理するために市から引き渡された個人情報（受託者が自ら収集した個人情報を除く。）が記録された資料または媒体等を、この契約の有効期間終了後6ヶ月以内に廃棄（第三者へ廃棄を委託する場合を含む。）する。ただし、受託者は、市からの追加業務への対応等のために必要と判断した場合、当該期間経過後も必要かつ合理的な期間、当該資料または媒体等を保持する。この場合であっても、市が廃棄を指示した場合、受託者は直ちに当該資料または媒体等を廃棄する。

1 3．個人情報の保護

本業務を処理するための個人情報の取り扱いについては、赤磐市個人情報保護法施行条例（令和4年赤磐市条例第22号）を遵守し、適切な管理に努めなければならない。

また、機密情報として扱い、目的外利用、第三者への提供、漏洩、滅失、棄損の防止、その他適正な管理に必要な措置を講じなければならない。契約終了後もまた同様とする。

1 4．その他

- (1) 契約後、本仕様に定めのないことについて疑義が生じた場合は、必要に応じて市及び受託者が協議して定めるものとする。
- (2) 契約後、本仕様の内容を変更する必要がある場合は、市及び受託者が協議して定めるものとする。
- (3) データの受け渡し、データの加工等に必要な機器の準備、運搬等にかかる費用については全て受託者の負担とする。

別紙

市が受託者に提供するデータ等

市は、業務仕様書の定めに従い、実施する事業に応じて以下のデータを受託者に提供する。データ提供は、市から受託者へ原則L G W A Nを通じて行うものとするため、L G W A Nによるデータ授受環境は受託者負担にて構築すること。なお、やむを得ない事情等によりL G W A Nの運用ができない場合は、追跡可能な配送サービス（レターパックプラス、書留、特定記録郵便、ゆうパック等）またはセキュリティの担保されたファイル共有サービスの利用により市と受託者におけるデータの授受を行う。

（１）K D Bシステム帳票データ（ファイル形式：C S V）

ア	S21_001 地域の全体像の把握
イ	S21_003 健診・医療・介護データからみる地域の健康課題
ウ	S21_006 人口及び被保険者の状況
エ	S21_007 質問票調査の状況
オ	S21_008 健診の状況
カ	S21_011 厚労省様式（様式１－１）基準金額以上となったレセプト一覧
キ	S21_012 厚労省様式（様式２－１）６ヶ月以上入院しているレセプトの一覧
ク	S21_014 厚労省様式（様式３－１）生活習慣病全体のレセプト分析
ケ	S21_018 厚労省様式（様式３－５）虚血性心疾患のレセプト分析
コ	S21_019 厚労省様式（様式３－６）脳血管疾患のレセプト分析
サ	S21_020 厚労省様式（様式３－７）人工透析のレセプト分析
シ	S21_024 厚労省様式（様式５－２）健診有所見者状況（男女別・年代別）
ス	S21_025 厚労省様式（様式５－３）メタボリックシンドローム該当者・予備群
セ	S21_027 厚労省様式（様式５－５）糖尿病等生活習慣病予防のための健診・保健指導
ソ	S23_001 疾医療費分析（１）細小分類
タ	S23_003 疾病別医療費分析（大分類）
チ	S23_004 疾病別医療費分析（中分類）
ツ	S23_005 疾病別医療費分析（細小（８２）分類）
テ	S23_007 医療費分析（健診有無別）
ト	S24_001 要介護（支援）者認定状況
ナ	S25_001 質問票調査の経年比較
ニ	S25_004 医療・介護の突合の経年比較介護（要介護度別１件当たり給付費）
ヌ	S25_006 医療・介護の突合（有病状況）
ネ	S26_005 保健指導対象者一覧（受診勧奨判定値の者）
ノ	S27_012 重複・頻回受診の状況
ハ	S27_013 重複・多剤処方の状況

- *ア、ウ、オ、テ～ネ：令和４年度から令和７年度について、各年年次分
- *イ、エ、シ～セ、タ～ツ：令和７年度について、年次分
- *カ、キ：令和７年度・６月～５月作成分（４月～３月診療分）
- *ク～サ：令和７年度・５月作成分（３月診療分）
- *ソ：累計：令和４～７年度分、単月：令和４～７年・６月～５月作成分（４月～３月診療分）
- *ノ、ハ：令和８年・５月作成分（３月診療分）

（２）その他

この他、必要なデータが発生した場合は、協議の上、提供する。